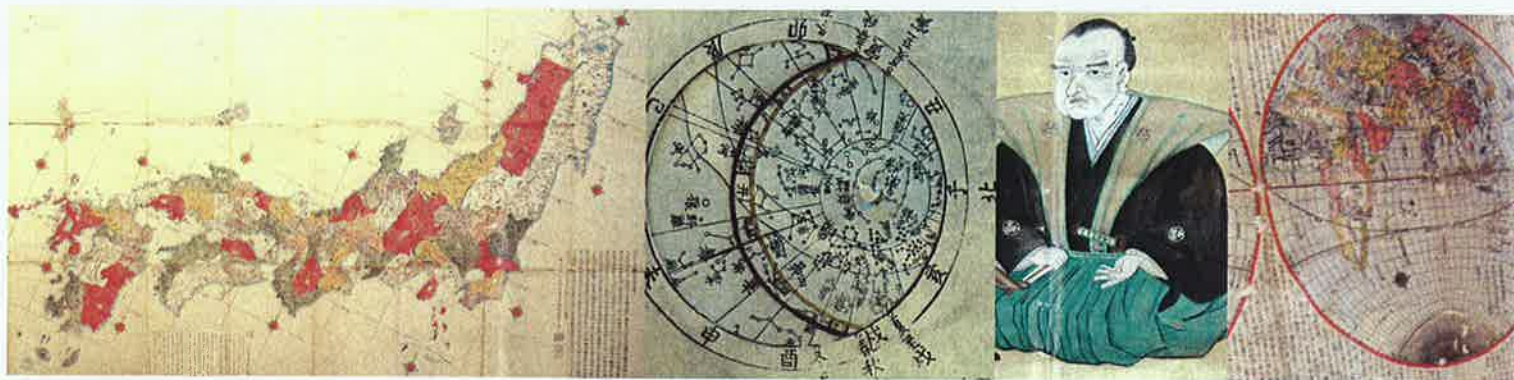


茨城発ふるさとルネサンス=みなさんの小さな活動がふるさと復興の原動力です
伊能忠敬の半世紀前に江戸時代のベストセラー・マップを著した水戸藩士のちにシーボルトがヨーロッパに紹介、幕末の吉田松陰も愛用し赤水の墓前を参詣している

長久保赤水

Nagakubo Sekisui 1717-1801



地理学の先駆者

長久保赤水先生の功績を称え
農民から大出世した努力に習い
みんなの力で高萩駅前銅像を建立し
復興のシンボルといたしたく候そうろう

長久保赤水銅像建立実行委員会 実行委員長 皆川敏夫

赤水像建立寄付募集

制作 / 能島征二 (日本芸術院会員・日展常任理事) 題字 / 佐川侑崖

■一口一万円 (芳名を記念誌に掲載させていただきます)

■三口三万円以上 (芳名を銅像に刻まさせていただきます)

詳細裏面

歌詞「赤水歌」公募

最優秀作詞賞 賞金 10万円

作曲 Karl Jeitler (ウィーンフィルハーモニー管弦楽団員)
Tetsu Nagakubo (PoemiX)

詳細裏面

長久保赤水先生銅像建立実行委員会

<http://www.nagakubosekisui.com> E-mail: minakawa@nagakubosekisui.com

お問合せ先 / TEL080-3401-0355 〒318-0001 高萩市赤浜 61 番地 長久保赤水先生銅像建立実行委員会 実行委員長 皆川敏夫



長久保赤水先生 銅像建立のための寄附金募集

制作：彫刻家 能島征二 題字：佐川倩崖
日本芸術院会員、日展常任理事、日本彫刻会常任理事 茨城書道美術振興会会長
長久保赤水先生銅像建立にあたり、ご賛同を賜われますれば幸甚に存じます。寄付金のお振込みは、郵便局の郵便振替にて下記の口座記号・口座番号へご送金ください。詳しくは、実行委員会 (TEL080-3401-0355 皆川) まで。

『赤水歌』の歌詞募集要項

長久保赤水先生銅像建立を機に、こどもから大人まで歌える『赤水歌』のための歌詞を募集いたします。市民が夢と希望を持ち、赤水先生のように一生懸命に努力すれば、やがて必ず素晴らしい人生が待っているというようなポジティブな歌詞であれば、どんなスタイルでもどんなタイトルでも自由です。あなたの歌詞で元気な新しい風を吹かせてください。歌詞の中に『長久保赤水』という固有名詞は必ずしも入れる必要はありません。

- ◇応募資格 年齢・職業・国籍・性別・住所など一切不問
- ◇応募方法及び提出先 レポート用紙または原稿用紙に、歌詞と住所・氏名・生年月日・年齢・職業(学生は学校名)・を明記してご郵送ください。
- ◇郵送先 〒318-0001 高萩市赤浜 61 番地 長久保赤水先生銅像建立実行委員会 『赤水歌』の歌詞係(実行委員長 皆川敏夫)
- ◇応募締切 平成 24 年 7 月 31 日 (火)
- ◇選考方法 長久保赤水先生銅像建立実行委員会の審査により最優秀作品賞 1 点と優秀賞 10 点を決定。最優秀作詞賞には作曲し、CD として発表いたします。また、銅像除幕式にて作曲者によって演奏披露されます。
- ◇作曲者 Karl Jaitler (ウィーンフィルハーモニー管弦楽団員) Tetsu Nagakubo(PoemiX)
- ◇表彰及び景品 最優秀作品には賞金 10 万円を贈呈いたします。なお、最優秀作品賞受賞者には赤水銅像建立のため 3 万円のご寄附をお願いいたします。その他の優秀賞 10 点には記念品を贈呈いたします。授賞式は 11 月 3 日(文化の日)午前 11 時、高萩駅前にて開催します。受賞に参加できない場合は代理の方でも結構です。
- ◇応募の際、次の事項に留意してください。
 - ・作品は、応募者が創作した未公表のオリジナル作品に限ります。
 - ・最優秀作品の著作権は、長久保赤水先生銅像建立実行委員会に帰属します。
 - ・採用作品は補作・修正を行う場合がありますので、あらかじめご承知ください。
 - ・一人何作応募されても歓迎いたします。・応募作品は返却しません。

ご寄附 事業費 1500 万円

一口一万円

芳名を記念誌に掲載させていただきます。さらに記念誌をお贈りいたします。

三口三万円以上

芳名を銅像の台石に刻印すると共に記念誌に掲載させていただきます。さらに記念誌をお贈りいたします。

銅像除幕式
11月3日(文化の日)
赤浜音楽祭駅前共同開催
出店者出演者ボランティア大募集



赤水図

振込先 口座記号 00120-6 口座番号 655721
長久保赤水先生銅像建立実行委員会

長久保赤水先生銅像建立趣意書

拝啓 春暖の候 貴家益々ご清栄の段大慶に存じ上げます。

とは申せ、昨年の東日本大震災による甚大なる被害につきましては、心より御見舞を申し上げる次第でございます。

さて、歴史を垣間みますと、大天災・大戦乱の後には必ず復興が訪れ、より素晴らしい時代を迎えていることに気付かされます。私たちは、その先人の知恵と勇気を受け継ぎ、ピンチをチャンスと捉え、血のにじむ先輩たちの努力に学ばねばなりません。

近年、茨城県は、立派な業績を残された人物 41 名を選び、同じように高萩市でも三傑を選出しました。そのどちらにも赤水先生は選ばれております。人は亡くなれば歳月の流れとともに忘れ去られてゆくのが世の常です。しかし、それとは逆に時代とともに輝きを増し、有名になっているのが赤水先生です。先生は、享保 2 年 (1717 年) 11 月 6 日赤浜村 (現茨城県高萩市) に生まれ、幼年時代に父母と死別し、継母の手によって育てられました。幸いにも、恵まれた才能と良き師良き友に巡り合わせ、襲い来る不幸をバネに刻苦勉励、よく万巻の書を読破し、更には当時思いもよらぬ長崎までの大旅行 (往復 3 か月余) に参加して、異文化に直接触れるという体験者となりました。農民学者赤水は日本地図も作り、それらが郡奉行に認められ、推薦されて水戸第六代藩主徳川治保の先生となったのです。

全国から情報を集め、天文学も研究し、20 数年をかけて作った日本地図は不朽の作品であるばかりでなく、版木にかけて出版し日本中に普及させた業績は不滅です。なぜなら、赤水の**新刻日本輿地路程全図 (1775 年発刊)**、**改正日本輿地路程全図 (通称赤水図、1780 年発刊)** は、伊能忠敬の大日本沿海輿地全図 (1821 年実測図完成) に先がけること約半世紀。しかも伊能図は防衛上発刊禁止で、幕府要人のみしか知るところでした。これに対し、明治を迎えるまでの内憂外患のあの激動期を含めた約百年間、志士たちや一般庶民も携帯し、大いに役立ったのが赤水図だったからです。なお、「世界に広がる赤水図」として、東京大学大学院馬場章教授は、欧米の各国立博物館や各大学に、37 枚の赤水図が大切に保管されていることを発表されております。

更には、ひそかに世界地図も作成出版して、日本の位置姿を知らしめる役にも立っております。

赤水先生は、江戸時代後期の、日本における地図の権威者でしたが、それのみか「農民疾苦」の上書を藩主に提出、弱者農民いじめの農政を命がけで改善させたりしております。

その他、「大日本史」の地理志編集には生涯を通して活躍され、85 歳 (満 83 歳) で天寿を全うされたのです。

最近「江戸時代が日本人を作った」と江戸時代が見直されるようになりました。奈良時代にインド仏教が日本化されたように、江戸時代には儒教をはじめ多くの中国文化が消化吸収され人物を生んでいるからでしょう。赤水先生は江戸小石川の水戸藩邸の中枢にあって、その大きい歯車を回転させていた一人だったのです。このような先人を誇りとし、心の拠り所として朝な夕なに仰ぎ見ることが出来れば、こんな嬉しいことはありません。

この度、その銅像制作をお願いしましたところ、当代一流の彫刻家能島征二氏が快諾して下さいました。能島先生は、日本芸術院会員、日展常任理事、日本彫刻会常任理事、茨城県美術展覧会会長などの重責を担われております。現在水戸市に住まれ、13 年前には「徳川齊昭・七郎麻呂 (慶喜公) 像」を千波湖畔に、10 年前には「水戸黄門さん像」を水戸市南町に建てられております。

また、銅像の題字は、茨城県を代表する書道家で高萩市出身在住の佐川倩崖先生にご快諾いただきました。

なお、赤水先生像建立場所は、常磐線高萩駅西口のロータリー中央が第一候補地です。若し首尾よく完成建立の暁には、次代を生き抜く多くの少年少女たちに、無限の勇氣と活力と感動を与え続けてくれるに違いありません。

時あたかも赤水先生生誕三百年を目前にして今年には龍年。天の時により地の利を得、あとは人の和あるのみです。

つきましては、出費多端の折、誠に恐縮でございますが、本趣旨にご賛同くださいますと、浄財の御寄付を賜りますればこの上ない喜びでございます。

誇りに赤水像をうち建てむ 復興のシンボル未来への遺産
最後になりましたが、皆様のご多幸と御尊家のご繁栄をご祈念申し上げます。 敬具

平成 24 年 4 月 1 日 長久保赤水先生銅像建立実行委員会 実行委員長 皆川敏夫

顧問 (長久保赤水先生銅像建立実行委員会)

茨城県知事 / 橋本昌 水戸市長 / 高橋靖 日立市長 / 吉成明 北茨城市長 / 豊田稔 福島県いわき市長 / 渡辺敬夫
東京大学大学院教授 / 馬場章 学習院大学文学部教授 / 荒川正明 映画監督 / 松村克弥 茨城キリスト教大学文学部学部長 (教授) / 東海林宏司
高萩市長 / 草間吉夫 高萩市議会議長 / 吉川道隆 茨城県議会議員 / 小田木真代 高萩市教育長 / 菅波洋平 (順不同・敬称略)

長久保赤水ロゴマークデザイン 長久保赤水 by REY

長久保赤水先生銅像建立実行委員会

http://www.nagakubosekisui.com E-mail: minakawa@nagakubosekisui.com

お問合せ先 / TEL080-3401-0355 〒318-0001 高萩市赤浜 61 番地 長久保赤水先生銅像建立実行委員会 実行委員長 皆川敏夫